

## ETVのISO化に関する国際動向

## 1. ISO化の動向

環境技術実証事業（ETV）に係る提案書（NWIP）が2012年10月16日にISO事務局により正式に受理され、ISOのTechnical Committee207のSub Committee4（SC4）にてISO-ETVが検討されることとなった。11月8日に、ISO事務局からTechnical Committee207のSub Committee4のメンバー国に対し、提案に対する検討の賛否の照会がなされた。その結果、2013年2月8日に国際標準化機構（ISO）より賛成多数で可決となったとの連絡があり、2013年5月にETVの国際標準化の草案を検討するための、各国から推薦される専門家より構成されるワーキンググループ（WG）（主査：カナダ）が立ち上げられた。

その後、同年6月の第1回WG、10月の第2回WG、2014年1月の第3回WG、同年5月の第4回WGにおけるワーキングドラフトの議論を経て、7月22日にISO事務局よりSub Committee4のメンバー国に対し、コミッティードラフトへの移行に対する賛否の照会がなされた。その結果、10月29日に国際標準化機構（ISO）より賛成多数で可決となったとの連絡があった。また、同年12月に第5回WG、2015年9月に第6回が開催され、日本も参加した。

2015年12月に第7回WGが開催され、FDIS案が取りまとめられ、2016年8月に第8回WGが開催された。

ISO 14034 FDISの投票が、2016年8月より10月を投票締切りとして行われ、最終的にISO14034は11月に発行された。

発行後の最初のワーキングとなった第9回WGの議題等は以下のとおり（具体は別資料を参照）。

○第9回 ISO-WG（2017年2月20日～23日、カナダ・オタワ）

- ① テクニカルレポート（TR：Technical Report）のあり方について
- ② 適合性評価について
- ③ 普及啓発パンフレットについて

第10回WGは、2017年6月11日～6月14日に、カナダ・ハリファックスで、TC207会合の中で開催された。現在、開催結果について内容を取りまとめている。

## 2. IWG-ETVの動向

アメリカ、カナダが中心となり、ETV事業の国際連携・相互実証に向けた作業部会として、IWG-ETVが立ち上げられた。ETV事業を実施している、カナダ、欧州委員会、韓国、フィリピンがメンバー国であり、日本、米国、中国はオブザーバーとして参加している。

2013年11月1日にカナダのオタワで第10回IWG-ETVが開催されるとともに、不定期に開催される電話会議で、ETVを実施する各国間での情報共有が行われている。

第10回IWG-ETV（2013年11月1日開催）以降は、国際電話会議のみであり、最近の概要は以下のとおり（2016年度は開催なし）。

### ○ IWG-ETV国際電話会議（2016年3月23日）

以下の議題の検討がなされた。メンバー国の欧州委員会、カナダ、フィリピン、韓国、オブザーバー国の日本が参加した。

（検討議題）

- ① ISO-ETVの最新動向（ISOのアップデート、発行後の検討事項）
- ② 各国ETVの最新動向
- ④ その他（EU作成の啓発パンフレットについて、次回から議長は韓国）